

2026 年 8 月 20 日

各 位

協賛の展覧会『雨の日の星空』開催のお知らせ

当社が協賛しております、Rain Tree 橋本真希×藝大生9名によるコラボレーション展覧会『雨の日の星空』が、2026 年 8 月 18 日（火）より東京・南青山にて開幕いたしましたので、お知らせいたします。



1. 本プロジェクトおよび展覧会開催の目的

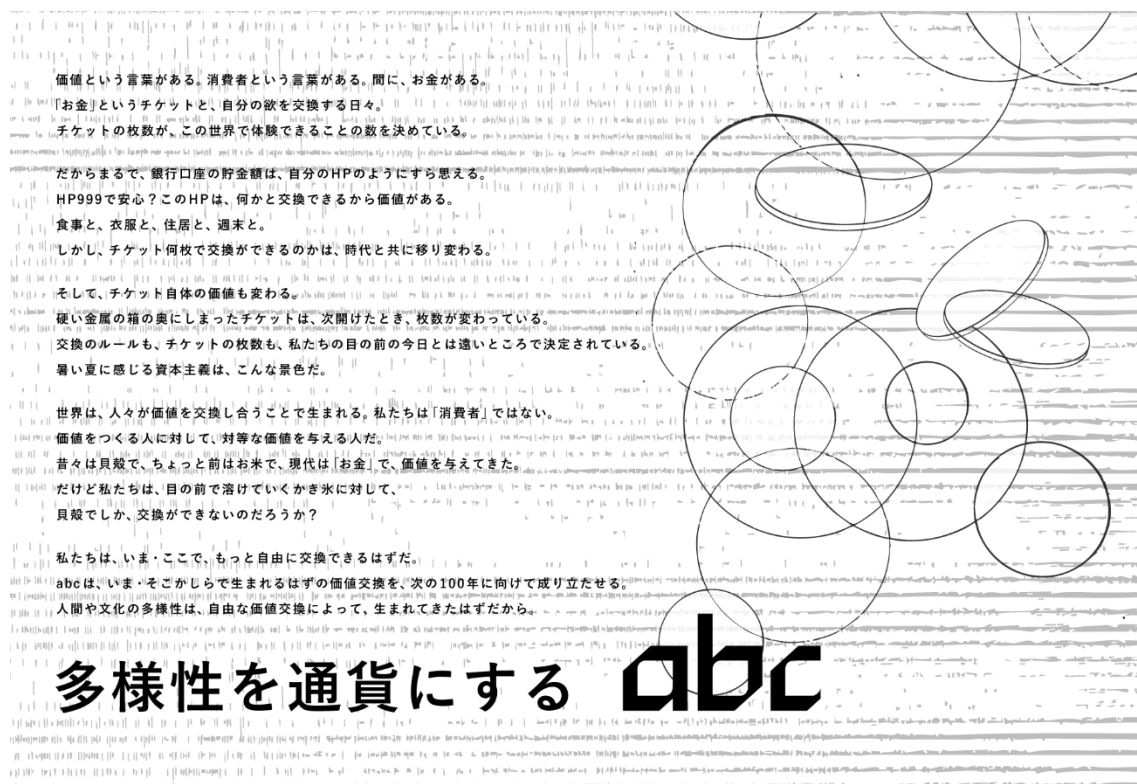
本展は、「まなざし」が境界を越えるをコンセプトに、異なる領域（「アイドル」と「アーティスト」）に立つ10名の表現者が、ファンや支持者（ファンダム）との関係性やそれぞれの視点を投影した絵画作品を一堂に展示する実験的なアートプロジェクトです。

当社は「多様性を通貨にする」をテーマに Web3 技術などを通じた新しい価値交換システムの提供を目指しており、若手アーティストや多様な表現者が挑む本プロジェクトの理念に賛同し、協賛を行っております。

2. 展覧会 開催概要

展覧会名	雨の日の星空
会期	2026 年 8 月 18 日（火）～ 8 月 28 日（金）
開館時間	12:00～19:00（最終日は 18:00 閉場）
会場	Gallery Blue 3143（東京都港区南青山 3-14-3 1F, 2F）
入場料	無料
協賛	株式会社ウェルネス、abc 株式会社
主催	『雨の日の星空』展実行委員会
公式 URL	https://rtgeidaipj.github.io/
出展作家プロフィール	○Rain Tree 橋本真希 @hashimoto_maki ○Tokyo University of the Arts Students あめ @prism_tensichan 加藤彩 @utoka_47 小橋柚奈 @tti_1102 こばら @g_o_e_k_a_k_i 小柴海亜 @noahoimo 龔惠雅 @admt_q 田辺朔葉 @tanabe.motoha みーや @harui_.miya びゅん @byun_tears

本展会場では、鑑賞者が自身のスマートフォン等で QR コードを読み取ることで、橋本真希氏の音声朗読（ステートメント）による作品解説を鑑賞とともに体験いただけます。



価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。

「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。

チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。

だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。

HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。

食事と、衣服と、住居と、週末と。

しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。

そして、チケット自体の価値も変わる。

硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。

交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは遠いところで決定されている。

暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。

世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。

価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。

昔々は貝殻で、ちょっと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。

だけど私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、

貝殻でしか、交換ができないのだろうか？

私たちは、いま・ここで、もっと自由に交換できるはずだ。

abcは、いま・そこがらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。

人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://abc-chain.com/>

abcは「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abcのグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目9番17号 赤坂第一ビル11階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファン等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上